

特 別 教 育 研 究 経 費 に つ い て

我が国の大学改革をより深化させていくためには、大学自らがその基盤としている教育・研究活動の体制やシステムを不断に見直し、改善に積極的に取り組む必要がある。

特に、国立大学は我が国の学術研究と研究者養成の中核を担い教育研究水準の維持向上に資するとともに世界に通用する人材・分野を育てるという使命を従来以上に発揮することが重要である。また、全国的に均衡のとれた配置となっている国立大学の利点を活かし地域の教育・文化・産業等の知的基盤となるといった役割を今後一層能動的に果たすことが期待される。

このため、大学審議会答申、科学技術・学術審議会学術分科会報告、第2期科学技術基本計画等での指摘を踏まえた各種施策を展開していくこととし、各大学の特性に十分配慮しつつ競争的環境の下での以下のような重点的支援を行うものである。

[支 援 内 容]

我が国の高等教育政策や学術研究政策に対する強い期待と要請に応えていくため、当該大学の将来構想等を勘案しつつ、魅力ある教育や特色ある研究の積極的展開を支援する。

1. 新 規 組 織 の 構 築 （調整中）

既存の組織の見直し等では対応できない教育研究上の新たな課題の解決のための体制整備に必要な経費。（人件費相当額を含んだ事業費として積算）

【 整 備 内 容 】

（1）人材養成基盤形成事業

社会の強い要請に適時適切に対応する人材養成のための基盤を整備

（2）研究展開基盤形成事業

学問の動向や世界の趨勢に対応する研究の新たな展開を図るための基盤を整備

※ 当該経費は、17年度以降適用する。

なお、当該経費は、中期計画期間中の事項の組み替えは行わないこととし、次期計画期間へ移行する際は、評価委員会等の評価に基づき、「学部・大学院等教育研究経費」等へ組み替える。

2. 教育研究システムの構築

教育の進展や科学・技術の進歩は近年特に著しく、各大学の活力の維持向上のためには、分野の特性や研究のポテンシャルを踏まえた戦略的取組みが必要不可欠となることから、新たな教育・研究システム構築のためのユニークな試みを促進させるための経費。（人件費相当額を含んだ事業費として積算）

【 整備内容 】

（１）試行的教育システム支援事業

教育の進展に対応し、当該分野の特性等を踏まえた斬新な教育システムの構築を目指す試行的取組みを支援

（２）戦略研究プロジェクト推進事業

各大学の研究組織のポテンシャルを活かした戦略的な研究プロジェクトを推進

（３）共同利用研究システム促進事業

共同利用型の研究組織における効率的・効果的な共同利用研究システムを促進

（４）先導的研究機関連携ユニット支援事業

先導的研究機関の相互連携により、世界の先陣を切るプロジェクトを推進するため、期限付き研究連携ユニットの形成を支援

（５）大型基礎研究推進事業

世界が注目する大型基礎研究の計画的推進を支援

3. 教育研究特別設備

学部・大学院、附置研究所等における教育研究環境の充実・高度化を図るための教育研究用設備の購入のための経費。

4. 研究教育環境充実

各大学がより大きな自主性と自律性の下、研究教育の環境を醸成するための経費として、競争的研究資金（間接経費相当分）の獲得状況等に応じ、一定のルールに基づき措置。